

「想 望」

児童養護施設若松園 園長 津嶋 悟

今年の夏は日本でオリンピック・パラリンピックが開催されるとても暑い夏です。日本で以前オリンピックが開催されたのは1965年ですから、57年ぶりとなります。私は57年後まで生きている自信がありませんし、多くの日本人にとって一生に一度の体験となることでしょう。

今年の夏休みは是非、みなさんにはテレビでオリンピック・パラリンピックをしっかりと観て応援してほしいと考えています。これまで興味が無かったり知らなかった競技もたくさんテレビで放送されるはず。特にパラリンピックは観ていて驚きと発見の連続でしょう。

大人の皆さんは、ホームで子どもたちがテレビばかり見ていると、つい「テレビの観すぎはいけません！」と言いたくなると思いますが、大会期間中は広い心で子どもたちと一緒に熱く観戦してもらえるとよいと思います。

今年の夏休みの前日、子どもと職員たちにこのように語りかけました。そのいつも以上に熱く感じた夏もあつという間に過ぎ去り、相変わらず緊張感の途切れない日々を過ごしながらも、新型コロナウイルスに対する世界規模の闘いはようやく次のステージを見据える風向きになってきたように感じます。まだまだ予断を許さず、次の波への備えも怠ることはできませんが、子どもたちは「もう少ししたらこんなことできるかな」「来年はあんなことできるかな」と想いを巡らせ、希望に胸を膨らませています。

同誌面で紹介しているように、未曾有の状況下であっても子どもたちは遅しく、前を向いて一歩ずつ前進しています。新しい時代を切り開く子どもたちの可能性を、文章から感じ取っていただけると幸いです。

国家資格取得

私は国家資格三級自動車シャシ整備士の資格を取得しました。これは自分が初めて取った資格です。初めは自信がなく、諦めていましたが、学校の先生方に教えてもらったおかげで自信が付き、無事に取得できました。来年の4月からは、幼い頃からの夢であった自動車整備士として就職が決まりました。資格を活かして、一生懸命働き、自立した社会人になりたいです。

【高3 A.K】

就職に向けて

私が、本年度に入って頑張った事は、就職試験に向けての準備です。私は高校のコースが機械系列なので、化学の知識が多くありません。そのため、約半年かけて、化学の勉強と資格取得に励みました。資格としては、2級ボイラー技士やゴールドジュニアマイスターの資格を取得することができました。合否の結果は、まだ出ていませんが、どんな結果であっても前を向いて頑張ろうと思います。

【高3 O.Y】

Let's Cooking

私は、自立に向けて毎日お弁当作りをしています。私は料理に自信がない為、簡単な物でも1,2品作るようにし、作る頻度を増やすことでレパートリーを増やしています。卒園に向けて、一汁三菜を一人で作るようにできるようにしたいです。その為に、先生に教えてもらったり、自分で料理本などを見たりして、日々頑張っています。努力することによってできることが増えたので、これからも将来に向けて頑張ります。

【高3 T.Y】

華のJKライフのために

私は高校生になって頑張っていることがあります。一つ目は勉強です。高校卒業後は進学したいと思っているので、土曜日補習に行ったり、毎日2時間以上勉強をして頑張っています。受験の時のようにつまづかないように計画を立てて、効率よく勉強に励みたいと思います。二つ目は友人を大切にすることです。私は人付き合いが苦手で反応に困ることがあるので、相手のことを考えて行動するように頑張っています。三つ目は部活動です。写真部に入り、カメラを購入しました。素敵な写真を撮れるように腕を磨いて頑張りたいです。素敵な写真が撮れたらコンクールに出たいです。

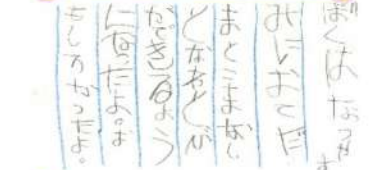
この三つを頑張りがら高校生活を楽しく充実したものになりたいと思います。 【高1 N.R】



第42号 発行
社会福祉法人 備作恵済会 若松園
〒703-8261 岡山市中区海吉206番地
TEL (086) 277-2261 (代)
FAX (086) 276-6925
http://www.wakamatsuen.or.jp/



さかあがりができるようになったよ!



おてだまとなわとびができるようになったよ!

「全国児童養護施設協議会」より、勤続20年の永年勤続職員感謝状をいただきました。

『勤続20年を振り返って』

里親支援専門相談員 平井 聡子



ここ最近、立て続けに卒園生から連絡が入る。「先生に会わせたい人がいるんだけど会いに行くといいかな。」若松園に勤めてからあつという間に20年が過ぎた。幼少の頃から担当し、卒園した子どもたちも、今は20代後半から30代の歳になってきたこともあり、嬉しい知らせが続く。思えばどの子も手を焼いた。干支が猪だったAくんはすさまじい多動と指示の入りくさで、毎日格闘し、彼が高校生になってもそれは続いた。Bくんは思春期に入り、人間関係に悩み苦しむ警察にお世話になったことも。親元に帰り、そこでまた激しい虐待を受け再入所したCくんは、施設での生活が苦しくてもどうしようもない現実にはぶつかりとことん荒れた。他にも色々な子がいた。その時々は大変だったが今思えば懐かしい。卒園してからも誕生日には必ず連絡を入れている。そうすると、少しずつ成長した子どもたちから返事が返ってくる。その中で、あの頃はお互いに伝えられなかった思いを伝え合えるようになった。私自身特別なことをしたわけではない。共に生活をし、子どもたちが幸せな人生を歩めるよう、自分が何かしら出来ることをしてあげたい。そんな些細なことしか出来なかったように思う。でも子どもたちから「先生のお陰で今の自分がある。先生が担当で良かった。」そんな言葉を聞けるだけで、こちらも「あなたを担当出来て良かった。本当にありがとう。」と伝えられる。親から幸せをもらえなかった子どもたちではあるけれども、だからこそ誰よりも幸せな人生を歩んでもらいたい。先日Aくんから「赤ちゃんが生まれたよ。」と動画が届いた。Aくんの赤ちゃんを見つめる眼差しが優しい。「若松園の桜を見せたい。」そう言ってくれる言葉にじんときた。成長したなあ。少しづつ顔になったAくんに会えるのを楽しみに、春を待ちたい。

赤い羽根共同募金の助成を頂きました。

この度、赤い羽根共同募金の助成を頂き、新しい車を購置しました。

若松園では、公用車を子どもたちの学校や塾、習い事への送迎や普段の買い物や遠出をする際など毎日使っています。

新しくなった公用車に子どもたちはとても喜んでます。若松園の新たな仲間として、これから色々な場所へ出掛けて思い出と一緒に作っていきましょうと思います。

新車を購置できたことで、これからは子どもたちと安心安全に出掛けることができるようになりました。本当にありがとうございます。職員一同感謝しております。



お知らせ

社会福祉法第82条の規定により、本法人では利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えています。

本法人における苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員を下記により設置し、苦情解決に努めていますので、何かあればお気軽にご相談ください。

*若松園 苦情解決責任者 津嶋 悟

*若松園 苦情受付担当者 廣瀬 由貴
☎086-277-2261

<第三者委員>

*新見公立大学 地域福祉学科 特任教授 八重樫 牧子
☎0867-72-0634

*主任児童委員 來住 久益子
☎086-274-7983

情報公開について

定款、現況報告・総括表、決算書、事業報告を若松園ホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。また、ホームページにてブログを更新しています。子どもたちの日頃の様子、園の取り組み等を紹介しておりますので、こちらもぜひご覧ください。

http://www.wakamatsuen.or.jp/

お問い合わせ

「きらきら」に対する御意見、御感想がありましたら、ぜひ下記のメールアドレスまでお寄せ下さい。また若松園に対する質問もこちらのアドレスまでお願いします。

sbw206@ceres.ocn.ne.jp

編集後記

きらきら42号を読んでくださり、ありがとうございます。本年度もコロナの影響で外出を自粛する日々が続いています。この様な状況の中、少しでも楽しく過ごせるよう今年の夏休みは創意工夫をしてきました。子どもたちの楽しんでいる様子を知っていただけたらと思います。(編集委員一同)